

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	廃棄物対策課長 伊藤耕	電話番号	0852-22-6173
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	一般廃棄物適正処理推進事業		
目的	(1) 対象	沿岸の住民、一般県民	
	(2) 意図	海岸漂着物を円滑に処理し、沿岸住民の安全を確保するとともに、海洋環境の保全を図る。	
事業概要	海岸漂着ごみの回収処理対策事業：海岸漂着ごみを円滑に処理するため、地域計画作成や海岸管理者に対する財政措置を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 海岸漂着物等地域対策推進事業の執行割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 執行率(精算国費額) / (国費交付決定額)	実績値	97.3					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	286,211	259,336
うち一般財源(千円)	17,246	11,600

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

県内沿岸全市町村及び海岸管理者において、地域環境保全対策補助金による海岸漂着物対策事業を実施した。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

補助事業実施より海岸漂着物の回収処理が進んだ。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
地域環境保全対策補助金(海岸漂着物地域対策推進事業)において、平成27年度事業実施を予定していた市が取りやめた。
- ②困っている状況が発生している「原因」
平成26年度補正予算から地方負担が発生したため。
- ③原因を解消するための「課題」
国における財政措置の充実

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

国に対して、地方負担の廃止など国における財政措置の充実を図ることを、今後も強く要望していく。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。